

### 【請願第6号】

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める請願

### 【請願事項】

一、コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。

二、政府が買い上げた米をコロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援で活用すること。

三、国内消費に必要なない外国産米(ミニマムアクセス米)の輸入を当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施すること。

### 賛成討論

コロナ禍における米の需要減少は2019年産米の過剰在庫を生み、2020年産米の市場価格は6年ぶり

に下落し、年末年始に

おける感染者拡大と自粛要請、さらに緊急事態宣言の再発令により、需要減少に歯止めがからず、2020年産米の販売不振と米価下落は深刻な状態になっています。

今年の10月末には、古米在庫が約60万トンにも及ぶと試算され、36万トンの減産が実行されたとしても、効果が望めません。このままでは、来年の6月末在庫が250万トン規模となり、2年連続の米価下落にとどまらず、3年連続の米価下落となれば、大規模経営でも米作りから撤退することにつながるかねない状況です。

コロナ禍により需要が減少したことで発生した「過剰在庫」については、政府による特別な隔離対策が必要であ

り、さらには、かつて

ない危機的事態の中で苦しむ国民と農家の支援のために、備蓄米のフードバンク等への供給の拡充など、従来の政策的枠組みにとらわれない対策が緊急に求められています。

コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が買入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。政府が買い上げた米を、コロナ禍などによる生活困難者・学生などへの食料支援で活用すること。

国内消費に必要なない外国産米(ミニマムアクセス米)の輸入を当面、国産米の需給状況に応じた輸入数量調整を実施すること。を強く求めます。

日本の食と日本の農業を守るためにも、国に対し、意見書を提出

していただきたい。

### 賛成少数で不採択

### 意見書第4号

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。

地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設

の老朽化対策費など将来に向け増高する財政需要に見合う財源が

求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

1 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。

2 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは断じて行わないこと。

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、期限の到来をもって確実に終了すること。

3 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとするこ

と。

4 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。

5 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源配分すること。

### 全員賛成で可決

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、期限の到来をもって確実に終了すること。

